

## 「精神障害者への介護」の教育方法 (1) ～介護福祉学生への精神障害者に対するイメージ～

谷口 敏代

### Care Work Student's Images of Mental Disorder

#### Abstract

The purpose of this research was to examine the care work student's images of mental disorder by drawing and the freedom description. As a result, 250 data which got it from the freedom description were made 9 category. "a warm image" "a dangerous image" "a gloomy image" "a mental symptom exaggerated image" "a delicate image" "an abstract image" "a closed image" "an infant-like image" "others".

As for "the warm image", a negative image occupied 80% only in 1.2%. 3 groups could classify 47 sheets of contents of drawing. It was suggested to the image for the mental disorder person that drawing didn't necessarily correspond with the freedom description and sometimes different and it couldn't be interpreted simply.

Keywords: Mental Disorder Image Care Work Student Drawing Test

#### 目的

地域における精神障害者の日常生活を支援することにより精神障害者の自立と社会参加を促進する観点から2002年4月以降精神障害者居宅生活支援事業が法定化され、市町村において実施されている。今後、介護福祉士に寄せられる期待が大きくなることが予想されよう。介護福祉士養成カリキュラムでは「精神障害者」に関する項目は社会福祉概論、地域福祉論、障害者福祉論、老人・障害者の心理、医学一般、精神保健、介護概論、形態別介護技術等様々な科目の中で触れられる。中でも「精神障害者の介護」は「形態別介護技術」の中の単元として位置づけられ、2000年のカリキュラム改定（社会福祉士養成施設等における授業科目の目標並びに介護福祉士養成施設等における授業科目の目標及び内容改定）では内容が強化された。しかし、講義内容として示されているのは1) 精神障害に起因する介護上の諸問題、2) 保健医療福祉関係者との連携、演習内容には、日常生活介護（健康管理、身辺管理、家事管理等）との保健医療関係者との連携が示されているにすぎない。また、他の単元との関連から授業時間としては6～8時間の確保と、臨床実習は老人福祉・保健施設や障害者施設が主で、痴呆高齢者もしくは身体障害者の介護が中心で精神障害者の介護を主目的とはしていない現状がある。精神障害者は他の障害者に比べ対人関係を築きにくい側面を持ち、信頼関係を形成することからケアが開始されるといっても過言ではない。ケアを行う者の精神障害者観がケアの質を左右することは言

うまでもなく、精神障害者及び精神に障害を持ちながら生活することの意味を正しく理解することが基本である。小櫃ら<sup>1)</sup>も指摘しているように「精神障害者の介護」を教育する視点としてもっとも重要なことは、精神障害者に対する偏見や差別が当事者の生活障害を助長していることに気づき、地域での生活を可能にする働きかけを理解し実践できるようになることである。しかし、社会の中にある精神障害者への偏見や差別意識は根強く<sup>2)</sup>、精神障害者の犯罪や事件が生じる度に精神障害者を危険な存在として扱い精神障害者への偏見やステレオタイプの見方が台頭する条件が整えられている。センセーショナルな精神障害者に関連した事件や事故により思考や感情、行動に影響を受けやすいのではないだろうか。そのような中にあっても専門職業人として、精神障害者を正しく理解した精神障害者観を育成しなければ、介護福祉士としての役割期待を裏切ることにもなりかねない。

偏見や否定的なイメージやステレオタイプを形成する態度は感情・認知・行動成分で構成され、態度変容にはポジティブな情報や相互作用の接触が効果的だと言われている<sup>3)</sup>。介護福祉の隣接領域である看護教育では精神看護実習がカリキュラムの中に組み込まれ、実習体験が精神障害者やそのケアに対するイメージや態度が肯定的な影響を及ぼすことは研究によって確認されている<sup>4) 5)</sup>。介護福祉教育でも学内の授業に加え精神障害者の介護を通した学習が望ましいが、精神障害者の介護を中心とした実習時間及び実習場所の確保には多くの課題を要している。限られた授業時間で思考を育み、卒業後の自己教育へ動機付けていくためには、まず学生の認識を理解し、教育内容の選択・配列を考えることが必要である。そこで、本研究は今後の教育内容の見直しや教育方法や教育評価を明確にする基礎資料とするため、介護福祉を学ぶ学生の精神障害者へのイメージについて明らかにすることとした。

## 研究方法

### 1) 調査対象

介護福祉士をめざす短期大学生50名を分析対象とした。調査にあたり、強制ではないこと、調査と授業成績には無関係で、調査内容やデータは集計・分析し、研究及び、今後の授業に役立てること以外には使用しないことを口頭で行った。また、イメージ像の絵の活用可能性があることも加え調査参加への意志を確認し、同意が得られた学生を対象とした。

### 2) 調査時期

2001年7月の「形態別介護技術Ⅳ」の前期講義終了後に記名集団方式で実施した。2001年6月は大阪府下における児童殺傷事件後、長期間にわたってセンセーショナルな報道が繰り返され、精神障害者に対して怖い存在だという偏見が深刻化した<sup>6)</sup>時期である。

### 3) 調査内容

「私は精神に障害のある人を○○○のようにとらえています」と記述した用紙を配布し、『思い浮かぶ内容5項目の記述と絵を描いて下さい』という指示によって始めた。また、この指示の他にも①思いついた言葉は飾らずそのまま表現する、②絵は上手下手を見るのではない、③できるだけ丁寧に

思った通りに描く、④描画できない場合は描かなくても良い、⑤時間は自由である、⑥隣の人と相談したりしない、⑦記名方式であるということを加えた。本人の負担を考え用紙はB5判のコピー用紙を縦に用いて、鉛筆を使ってもらう。授業時間外に絵を完成させたい申し出があった1名以外は所要時間は30～40分を要した。

#### 4) 分析方法

自由記述に関しては記述内容が読みとれない場合は学生本人に確認し明確にした上で、センテンス・単語を表現、意味内容の類似性に基づいて分類した。描画は描画テスト<sup>7) 8)</sup>の分類を参考にし、筆者を含む2人の協議によって分類した。

### 結果及び考察

#### 1) 自由記述について

自由記述から得られた内容250データ（付表参照）から「暖かいイメージ」「危険なイメージ」「暗いイメージ」「精神的症状誇張イメージ」「繊細的なイメージ」「抽象的イメージ」「閉鎖的なイメージ」「幼児的なイメージ」「その他」の9カテゴリに分けられた（Table 1）。それらの内容をみると、肯定的なイメージとしては「暖かいイメージ」の1カテゴリのみでわずか1.2%で、〈いつも笑顔で優しい〉〈心があたたかい〉〈柔らかい〉があげられていた。否定的なイメージでは「精神的症状誇張イメージ」39.2%と最も多く、〈感情の起伏が激しい人〉〈感情の変化が多い〉〈神経質〉〈躁とうつ状態の繰り返し〉などがあげられていた。次に多かったのは「閉鎖的イメージ」20.8%で〈隔離されている〉〈固い何かに覆われている〉〈殻に閉じこもっている〉〈独自の世界にいる人〉などがあった。「危険なイメージ」7.6%については〈キレたら何をするかわからない〉〈怖い人〉〈近寄りがたい〉〈爆弾〉などで、「暗いイメージ」7.6%については、〈暗い色〉〈灰色〉〈深い深い底が見えない海の青色〉ような色で表現したものや〈かたい〉〈ブラックホール〉のような回答があった。また、「繊細的なイメージ」3.6%については〈相手の気持ちをとても気にしやすい〉〈こわれやすいもの〉〈もろい〉が、「幼児的なイメージ」2.8%には〈幼い人〉〈子供っぽい〉〈人なつこい〉などがあげられていた。肯定的、否定的イメージとして理解できないカテゴリとして「抽象的イメージ」8.4%には〈青色〉〈大きな木〉〈ふわふわ飛んでいる風船〉〈色に例えるとレインボー（ごちゃまぜっていう意味で）〉のように色や物で表現したり、「その他」10.4%には、〈自分にも起こりうること〉〈見かけは全く普通〉〈私には理解できない世界を持っている人〉があげられていた。

「精神障害者への介護」と「精神保健」の授業終了後にもかかわらず、大半の学生が精神障害者に対する危険、暗い、閉鎖的、繊細的、幼児的なイメージを持ち、精神疾患の部分的な症状や急性期症状にとらわれたイメージを抱えていることが明らかになった。調査時期は大阪府下における児童殺傷事件や少年による残虐な殺人や精神障害者の自殺等の報道が続けて報道されたが、学生の抱くイメージは社会的背景やマスメディアの影響も受けていることも推察される。しかし、介護福祉士資格取得後、在宅精神障害者や施設での精神障害者への日常生活のケアの専門家となる可能性を考えると、適切な

Table 1 精神障害者イメージ（自由記述）		n=250	
	カテゴリ	データ数	%
肯定的イメージ	①暖かいイメージ	3	1.2
否定的なイメージ	②危険なイメージ	19	7.6
	③暗いイメージ	15	6.0
	④精神的症状誇張イメージ	98	39.2
	⑤繊細的なイメージ	9	3.6
	⑥閉鎖的なイメージ	52	20.8
	⑦幼兒的なイメージ	7	2.8
その他	⑧抽象的なイメージ	21	8.4
	⑨その他	26	10.4

イメージを形成しなければならない。授業開始時のレディネス把握と教育方法及び教材の選択が求められる。

## 2) 描画内容

47枚の描画内容はTable 2のように「開放性」「二面性」「閉鎖性」の3つのグループに分類でき、さらに人物画、現実画、非現実的描画さらに人物は前向き、後ろ向き、横向き、描画された人の人数も確認し分類した。

開放性のイメージは1枚のみで、〈花束を抱きながらにこにこしている人物（Table 3-①）〉が描かれていた。二面性の絵は15枚で、〈シャボン玉が浮かんでいる〉〈びっくり箱〉〈森、池を描き、池には音符をちらばめている〉〈左角に黒い枠で囲まれた中にハートが描写されているもの〉〈ハートが揺れ気分が良い場面と、ハートが曇り、震えながら涙を流している場面（Table 3-②）〉〈ハートに雲がかかった部分と晴れた部分を描いたものや（Table 3-③）〉〈笑った表情と涙を流した表情を一つの顔に左右を描き分けたもの（Table 3-④）〉等、肯定的イメージ・否定的イメージの正反対のイメージが同居した絵が描かれていた。中には何も描かれてはいない白紙の紙に「絵を描いていないのではなく、白いか透明な感じ」と説明を加え、単純にイメージできないものもあった。また、閉鎖性イメージは31枚で、〈鍵のかかった頑丈そうな分厚いドア〉〈ナイフがささったかぶとのような中に地球が浮かびその地球は割れている〉〈画面いっぱいに四角を積み重ねたもの〉を描き、進みたいのに進めない、進んだ気がしない。同じ所でもがいている気がするとの記述が加えられていたもの、〈社会から閉ざされた、病院の中で震えながらうつむいている人物（Table 3-⑤）〉や〈格子のなか人がうずくまり、人には斜線がかかっている（Table 3-⑥）〉ものなどが描画されていた。

‘精神障害者に対するイメージ’という学生の内的世界を把握する方法として、イメージの言語的なものと非言語的方法が考えられるが、今回は自由記述方法と描画を同時に求めた。自由記述では学

「精神障害者への介護」の教育方法（１）～介護福祉学生が精神障害者に対するイメージ～


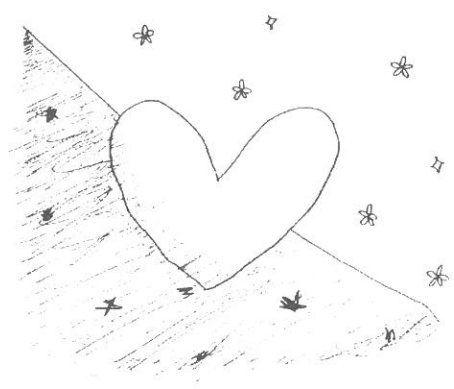
Table 2 精神障害者イメージ（描画分類）

番号	分類-1	分類-2	人の向き	人の人数	その他の描画と描画内容
1	解放性	人 描 画	前向き	1 人	花束を抱きながらにこにこしている ☆
2	二面性	現 実 画			シャボン玉が浮かんでいる 遠景には雲 山 太陽を描いている
3		現 実 画			びっくり箱
4		現 実 画			画面全体を使い森 池が描かれ、池には音符がちらばっている。 ☆
5		非現実的描写			左角に黒い枠で囲まれた中にハートが描写される ☆
6		非現実的描写			白紙ではなく絵を描いていないのではなく、白と透明な感じ ☆
7		非現実的描写			四角に斜線と白紙が対角線上に二分されている
8		非現実的描写			ハートに雲がかかった部分と晴れた部分を描く
9		非現実的描写			曇りと天気マーク
10		人 描 画	前向き	3 人以上	モヤモヤ、怒り、悲しみ、花の中で喜んでいる、星 ☆
11		人 描 画	前向き	3 人以上	ハートが揺れ気分が良い場面と、ハートが曇り、震えながら涙を流している場面描写、太陽 雲雨
12		人 描 画	前向き	1 人	笑った表情と涙を流した表情を、一つの顔に左右に描き分ける
13		人 描 画	混合	3 人以上	精神障害者と健常者の関係を描写
14		人 描 画	前向き	1 人	輪郭のない顔 眉毛 目 鼻 口を描写しハートを抱いたキュービットが描かれる、声にならない声の描写 ☆
15		人 描 画	前向き	3 人以上	四種類の表情、ココロ、怒り、悲、苦悩、無表情を描写
16		人 描 画	前向き	1 人	目を大きく開いた女性が一人立っている 見た目は普通という感じを現している
17	閉鎖性	閉 鎖 性			鍵のかかった頑丈そうな分厚いドア
18		現 実 画			黒いハートの中に白いハートを描く
19		非現実的描写			ナイフがささったかぶつのような中に地球が浮かんでいる。地球は割れている
20		非現実的描写			吹き出しの中に精神障害者と記述し、周りには影がかかっている
21		非現実的描写			画面いっぱいひらせん
22		非現実的描写			画面いっぱい四角の積み重ね ☆
23		非現実的描写	混合	2 人	厚い壁に覆われたなかで、しゃがんでいる姿と、ベッドに両手足を縛られている姿
24		人 描 画	混合	3 人以上	楽しそうな雰囲気の中に入らず、涙を流し、離れた所に一人立っている。影が描かれている
25		人 描 画	判別不可能	1 人	一人の人物を斜線でおおう
26		人 描 画	仰臥	1 人	真っ白な病室のベッドに横たわっている。窓には半開きの風にたなびくカーテンがある
27		人 描 画	横向き	1 人	社会から閉ざされた、病院の中で震えながらうつむいている人物
28		人 描 画	混合	3 人以上	奇声を上げたり、うつむいていたり、自傷していたり、よだれをたらしている人物を描写、鉄格子
29		人 描 画	前向き	1 人	根を張った一本の樹木の中に大きなハートを抱いた人が立っている。大粒の雨が降っている。樹木 雨
30		人 描 画	前向き	2 人（1）	躁と鬱の感情の変化を描写
31		人 描 画	混合	3 人以上	暴力、妄想、無気力・無関心、衣服への無関心をそれぞれ描写
32		人 描 画	混合	3 人以上	驚き、虚無感、空笑、無表情の顔の描写 ☆
33		人 描 画	横向き	1 人	床に目を閉じて座り込んでいる
34		人 描 画	前向き	1 人	黒い鉄格子につかまっている、鍵穴のあるドア
35		人 描 画	横向き	1 人	壁にもたれて座り、喜怒哀楽の感情を思い浮かべるが、スッキリしない様子
36		人 描 画	横向き	2 人	てんかん発作、血が割れる場面 ☆
37		人 描 画	前向き	1 人	周囲の人物は歌っているが、しゃがみ込み憂鬱そうな顔つきと、心臓が半分割れている
38		人 描 画	横向き	1 人	部屋の中のベッドに横たわっている 椅子、机、窓、洋服掛けを配置してある
39		人 描 画	前向き	1 人	両手を上げ渦の中に引き込まれている。ハートで現した心臓
40		人 描 画	判別不可能	1 人	黒いマントを着て帽子を深く被っている、黒い靴
41		人 描 画	後ろ向き	1 人	夕焼け、カモメ、土手
42		人 描 画	横向き	1 人	格子のなかにうずくまっている。人には斜線がかかっている
43		人 描 画	混合	2 人	壁のようなバリアに包み込まれて一人立っている。隣で話しかけている人が居るが、聞こえそうにない
44		人 描 画	横向き	1 人	迷路のような、行き先の見えないところを歩いている
45		人 描 画	混合	2 人	妄想や無気力な様子
46		人 描 画	混合	2 人	手に鎖がまきつきもがいている様子。離れたところにアドバイザーがいるが、その声は聞こえない
47		人 描 画	横向き	1 人	うずくまっている人物に様々な唇（4ヶ）、目（6ヶ）が取り囲んでいる ☆
48	描写なし	描写なし			
49	描写なし	描写なし			
50	描写なし	描写なし			

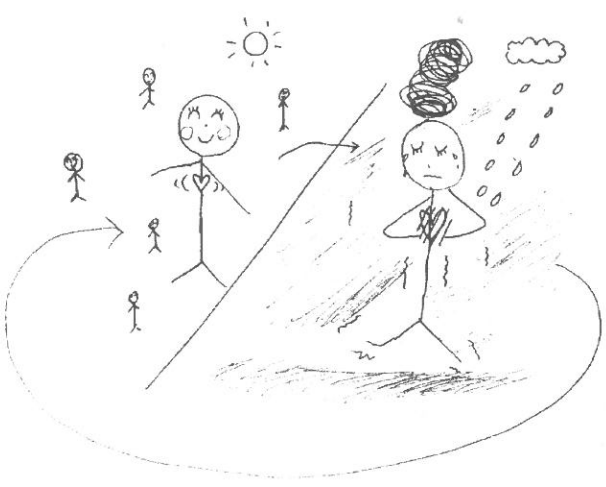
☆印は描画にコメントが書き加えられていた

Table 3 精神障害者イメージ(描画・自由記述)

(抜粋)

描 画 ①	描 画 ③
 <p>＜自由記述＞          人なつっこい          いつも笑顔で優しい（暖かい）          積極的          最後まで頑張る（途中で止めない）          遊ぶことが好き（みんなで）</p>	 <p>＜自由記述＞          心・気持ちのコントロールが難しい          相手の気持ちをとても気にしやすい          限度がわからなくなる          白色          自分の意思をまげない</p>

描 画 ②

<p>＜自由記述＞          人間に隠されている姿          不安につつまれている人          迷い子          心の風邪をひいている人          純粋さ</p>	
---	--

描 画 ④	描 画 ⑤
 <p>＜自由記述＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思いこみが激しい</li> <li>自分に自信がない</li> <li>疑心感が激しい</li> <li>感情の変化が多い</li> <li>心が泣いている（やさしい）</li> </ul>	 <p>＜自由記述＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会に受け入れられにくい</li> <li>コミュニケーションがとりにくい</li> <li>病院での治療がかかせない</li> <li>人権が守られるのが難しい</li> <li>症状に波がある</li> </ul>
描 画 ⑥	備 考
 <p>＜自由記述＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>突然何をしてかすかわからない人</li> <li>自分の世界に閉じこもって外界との接触を絶った人</li> <li>暗い人</li> <li>他人とのコミュニケーションがうまくとれない人</li> <li>社会の中で一人で生活できない人</li> </ul>	<p>描画は86％に縮小したもの</p>

生は自由な表現が許され、精神障害者に対するイメージが意識化された内容が言語化されるが、言語化しにくいイメージは描画によって補足することが出来る。逆にイメージされた描画から言語への意識化となることも考えられる（Table 3）。しかし、必ずしも自由記述と描画は一致せず食い違うこともあり精神障害者に対するイメージは単純には解釈できないことが示唆された。

今回の調査は授業後の1回のみの調査であり、妥当性に欠ける可能性がある。他の指標や時期も考慮し、継続した調査が今後の課題である。

## 謝辞

本研究にあたって、調査にご協力いただきました学生の皆様と分析に協力していただいた小野雅美先生に感謝いたします。

## 引用文献

- 1) 小櫃芳江, 浅岡淳子, 新井幸恵他: 「精神障害者の介護」の教育方法に関する一考察, 介護 福祉教育, Vol.7, 33-38, 2001.
- 2) 白石大介: 精神障害者への偏見とスティグマ ソーシャルワークリサーチからの報告, 中央法規出版, 2000.
- 3) 山内隆久: 偏見解消の心理 ～対人接触による障害者の理解～, ナカニシヤ出版, 2000.
- 4) 峰岸秀子, 古屋健: 精神看護実習が看護学生 of 精神障害者イメージ, 看護態度, および事例アセスメントに及ぼす影響, 日本看護研究学会雑誌, Vo23, No.4, 59-72, 2000.
- 5) 前田ひとみ: 看護学生の描画と言語表現による“患者”イメージの看護教育における有用性, 日本看護学教育学会誌, Vol.11, No. 3, 17-24, 2002.
- 6) 毎日新聞, 2002, 7月6日付
- 7) 家族画研究会編: 臨床描画研究特 描画テストの読み方, 金剛出版, 1994.
- 8) 三沢直子: 描画テストに表れた子どもの心の危機, 誠信書房, 2002.



「精神障害者への介護」の教育方法（1）～介護福祉学生が精神障害者に対するイメージ～

付表(自由記述全リスト)

<p>&lt;暖かいイメージ&gt; いつも笑顔で優しい(暖かい) こころがあたたかい、精神障害者同士絆が強い 柔かい</p>	<p>&lt;暗いイメージ&gt; 色で言えば暗い色(2) 色で例えると青っぽい(何となく) 色で例えると灰色 かたい 暗いイメージ 暗い人(2) 暗い森の中にまよって居る人 暗闇に居るよう 心の中を色で例えると灰色(曇り空)という イメージ 灰色(2) 深い深い底が見えない海の青色 ブラックホール</p>
<p>&lt;危険なイメージ&gt; 暴れられるとなかなか落ちていてもらにくい 危ないことをしてしまう人 大きな声を出したり、あばれたり急に服を脱ぎだしたりする キレたら何をするかかわからない こわい人(3) 自分の腹の立つようなことを少しでも言われたら憤慨しそう 少しこわい感じ 接するのが少し恐い人 近づきにくい人 近寄りやすい 突然何をしてくるかかわからない人 突発的に何かやってしまうことがある 何を考えているのかかわからない 何をするかかわからない 爆弾</p>	<p>&lt;繊細なイメージ&gt; 相手の気持ちをとても気にしやすい 心が泣いている(やさしい) こわれやすいもの 純粋さ 素直な人 繊細な人 人より純粋な心の持ち主 ビュアな心を持つ人 もろい</p>
<p>&lt;その他&gt; 遊ぶ事が好き 最後まで頑張る(途中で止めない) 作業等に頑張っていて毎日一生懸命生きている感じだった 自分にも起こりうる事 障害の一つ 身体的には障害のない人 積極的 他人事ではなく、誰にでも起こる事 誰でもなるならないといいきれる人はいない 出会った人の中にはコミュニケーションがしっかりとれる 人が多かったので自分の発言には注意が必要 人間の精神はどうなっているのか知らせてくれる 人間の本質的な部分が表に現れる事 話は理解している 人との触れ合いを持ちたい人 人によって全然違う 普通の人 本心が理解しづらい 本当はもっと思っきり好きなことをしたい 周りの環境が精神障害を作る 見かけは全く普通 見た目には普通の人 理解し難い 理解してくれる人間を求めている人 若い人に多い 私が生涯かかるとのことのない病気をもつ人 私には理解できない世界を持っている人</p>	<p>&lt;抽象的イメージ&gt; 青色 色に例えるとレインボー(ごちゃまぜって意味で) 色んな色がマープルにまざりあった感じ 薄い氷 大きな木 貝 ごはんで例えるとビビンバ(ごちゃまぜって意味で) 三角 純白 白色 すごく陰しくゴールがとても遠い長い道を歩く人 砂 空 たわいないもの 遠い所の人 人間に隠されている姿 ふわふわ飛んでいる風船 毎日毎日おなじことを繰り返している時計の針 真っ白のよう 迷子 もやもやした雲</p> <p>&lt;繊細なイメージ&gt; 幼い人(2) 子供っぽい(2) 中身が子供のまま大人になった人 人なつこい(2)</p>

付表(自由記述全リスト)

＜閉鎖的なイメージ＞

家で生活するのは難しい人  
家に閉じこもっていることが多く、社会との参加が少ない  
意志疎通（コミュニケーション）がとりにくい(6)  
隔離されている  
固い何かに覆われている  
殻に閉じこもっている  
環境の変化の適応や対人関係がうまくできない  
声かけの仕方が難しい  
心の中に自分にしか見えない世界がある人  
心を開いてくれない  
心を開いてくれない人  
心を開かない人、開けない人  
孤独  
自分が考えていることしたいことを上手に表現できない  
自分で自分を追い込んでいく感じ  
自分の殻に閉じこもってしまう  
自分の世界にすることが多い人もいる  
自分の世界に閉じこもっている人もいる  
自分の世界に閉じこもって外界との接触を絶った人  
自分の世界に入りやすい  
自分の世界を持っている人  
自分の中で決めたことをつくらせている  
社会との間に壁がつくられる  
社会との関わりが少ない

社会に受け入れられにくい  
社会の中で一人で生活できない人  
周囲に理解されない場合は孤独  
周囲の意見を受け入れることが困難な人  
自由に外出できない  
対人関係がうまくいかない  
同世代の人と同じ権利を得ていない  
独自の世界にいる人  
閉ざされている  
内向的  
話せる人が少ないよう  
人とうまく交われなくてたとえ、友人ができて自分の思いがきちんと伝えられず引きこもってしまう  
一人でいることを好む  
ふさぎ込む傾向がある  
閉鎖  
周りの人から理解してもらえにくい人  
競争社会、など、社会の酷な部分を考えさせてくれる  
誤解されやすいもの  
社会的不利な人  
人権が守られるのが難しい  
偏見やイメージでマイナスに捉えられてしまう人  
小さな落とし穴でもはまってしまい、抜け出せないでいる  
迷路から出られない人

＜精神的症状誇張イメージ＞

あまり表情が豊かではない  
一部では異なっているとも感じることは精神病患者  
でも、そうでない人と変わらない  
一般的な考え方が困難な人  
いつも何かにとらわれている人  
いつも不安でオロオロしている  
うれしさをまっすぐに表現する  
思いこみが強い(4)  
外見では障害があることがわからない人  
外見では分からない  
外見など見た目は普通だけれど被害妄想が突然あらわれて周  
りの人や物事が怖くなる  
過去にものすごい苦痛（精神的な）をした人  
過去や未来のない人  
感情の起伏が激しい人  
感情の変化が多い  
感情の変化が激しい  
疑心感が強い  
几帳面  
喜怒哀楽の感情をストレートに出す人  
気分がかわりやすく感情表現が激しい人  
気分が晴れているときは、とことん明るい  
気分の変化が激しい 種類がたくさん  
気持ちが安定していない  
気持ちの変化が激しい人(2)  
薬によってある程度の抑制は可能だが完治は無理な事  
薬によって症状をおさえており、普段は安定しており、普  
通に生活できる人  
薬を飲んでいる  
苦しいこと  
苦しんでいる(2)  
決して他人事ではなく、いつ誰が精神障害になってもおか  
しくないが、何らかの原因で発病した人  
幻覚や妄想の苦しさもあるし、周りの人に自分の気持ちを  
わかってもらえない苦しさもすぐあると思う  
限度がわからなくなる

自分では障害があると分かってない人  
個々により症状が多様に関わりにくい  
心、気持ちのコントロールが難しい  
心が迷子になってしまって自分の心が見つからないような感じ  
心になんかの傷をおっている人  
心の奥深くに病をかかえている  
心の風邪をひいている人  
心の病のある人  
こちらからみて非現実的なことでも彼ら自身は現実であると思っ  
ている  
叫び  
さみしがり屋  
実態（原因）がわからない  
自分感情等コントロールができない人  
自分自身を恐れている（一人でいることが多い）  
自分に自信がない  
自分の意志を伝えることも、相手の意志を読みとることも難しい  
自分の意志をまげない  
自分の世界を持っている人  
自分の作り上げた世界で生きている人  
自分の中での葛藤  
自分をうまくコントロールできない人（喜怒哀楽が激しい）  
種類がたくさん  
症状に波がある  
情緒不安定（2）  
神経質  
神経質傾向がある  
心理的に不安定な人  
すぐ怒る人  
ずっと薬を飲み続けなければならない  
精神障害と言っても病気の種類によってさまざまな症状があり、  
一人一人違うので長い時間かけて信頼関係を築くもの  
精神的な悩みを持った人  
精神的疲労が大きい  
精神面が複雑である  
躁とうつ状態の繰り返し

付表(自由記述全リスト)

＜精神的症状誇張イメージ＞

つらくなったらすぐに大声を出して泣き出しそう。また、落ち着きがない  
てんかんだと発作の時大変である  
治らない病気ではないが、完治する、あとは時間が必要  
治るまでに多くの時間と人の力が必要な事  
泣き叫ぶよう  
何か生活の中で精神的ダメージを受けた人  
何かにあやつられている人  
何か話しかけると騒ぎ出したり泣き出したりする  
何を考えているのかわからないよう  
被害妄想をしてパニックにおちいりやすい  
一つのことに打ち込み始めると集中しすぎて周りがみえなくなる  
一つの事にすごくとらわれてしまう人  
病院での治療がかかせない  
病気を治すことは難しいけど、必ず治る可能性はあると思う  
表情を出さない  
不安につつまれている人

普段少ししか、その人とかかわらなかったら、精神障害があることに気づかないと思う  
本人にとって解決しない小さなわだかまりみたいなものが、長年にわたって積み重なってしまうとそれが爆発してしまうこともある人  
麻薬シガー等で精神神経に異常が起こり、大声を出したり、幻覚があったりする  
妄想、幻覚になり、こうだと決め込んだら理屈が通用しなくなってしまう人  
もがく人、周りが見えない  
わがままな人（躁鬱病の人を診て）  
善悪の善し悪しが分からない人  
正しい理論が通じにくい人  
善悪の善し悪しが分からない人  
他人に自分のことを認められたいが、自分では自分自身を認めていない人  
＋思考ではなく、むしろ－思考の持ち主

2002年10月31日受付

2002年12月25日受理